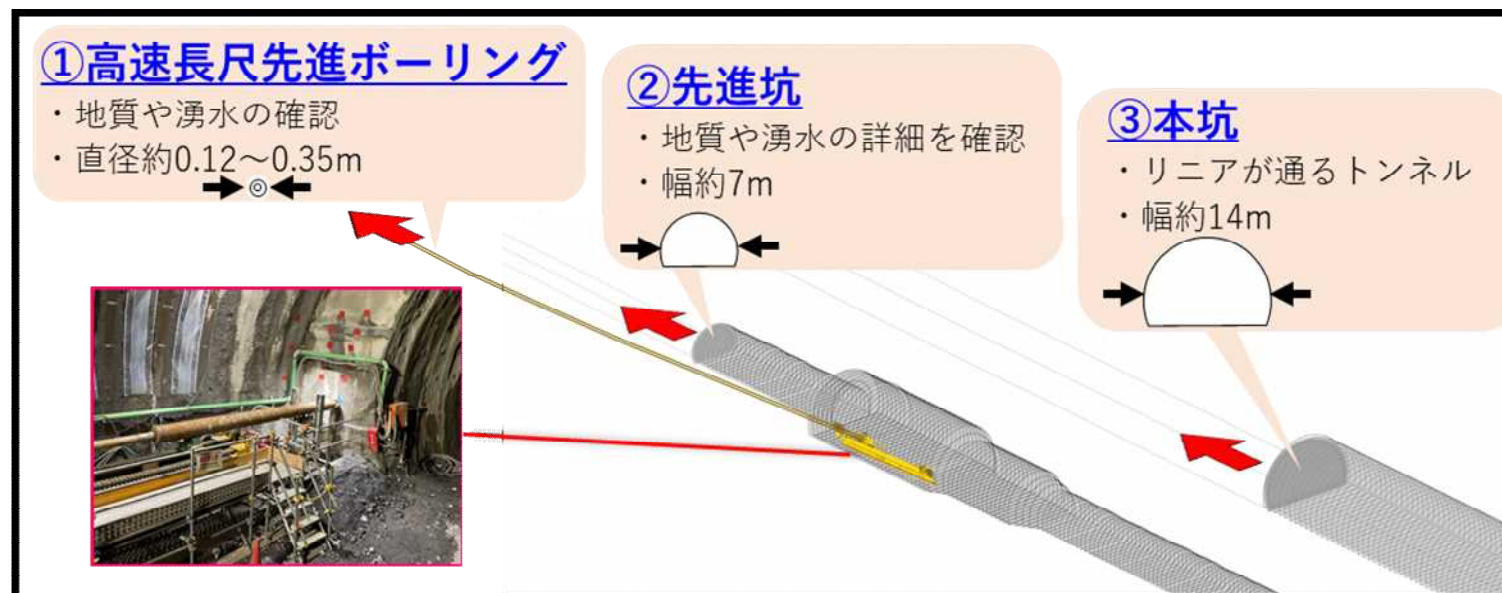
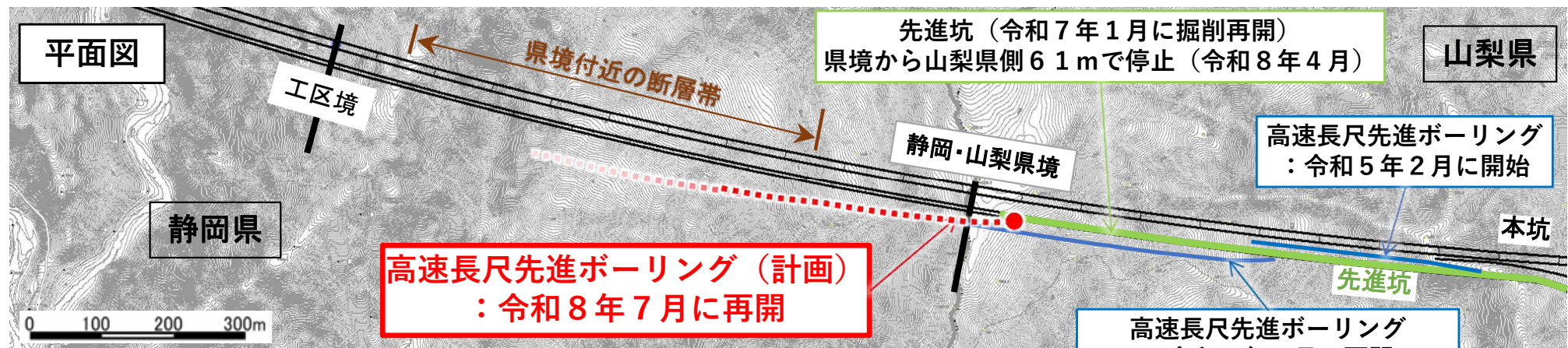


- ・地質や地下水の状況を事前に把握するため、**調査ボーリング※**を行います。
【下図①】
※南アルプストンネルは、最大で地下1,400mに位置し、地上から計画位置を調査することが困難であるため、先進坑内から水平方向に「**高速長尺先進ボーリング**」で調査を行います。
- ・調査により得られたデータをもとに、本坑の横に離して小さな断面の**先進坑**を掘削し、地質や湧水の詳細を確認します。【下図②】
- ・先進坑の掘削により得られたデータをもとに、リニアが通る**本坑**の施工計画を策定し、掘削します。【下図③】
- ・なお、**調査ボーリング**により判明した湧水量の多い箇所や地質が変化する箇所等では、必要に応じてコアボーリングにより岩石の試料を採取し、その結果も踏まえてより慎重にトンネルを掘削します。

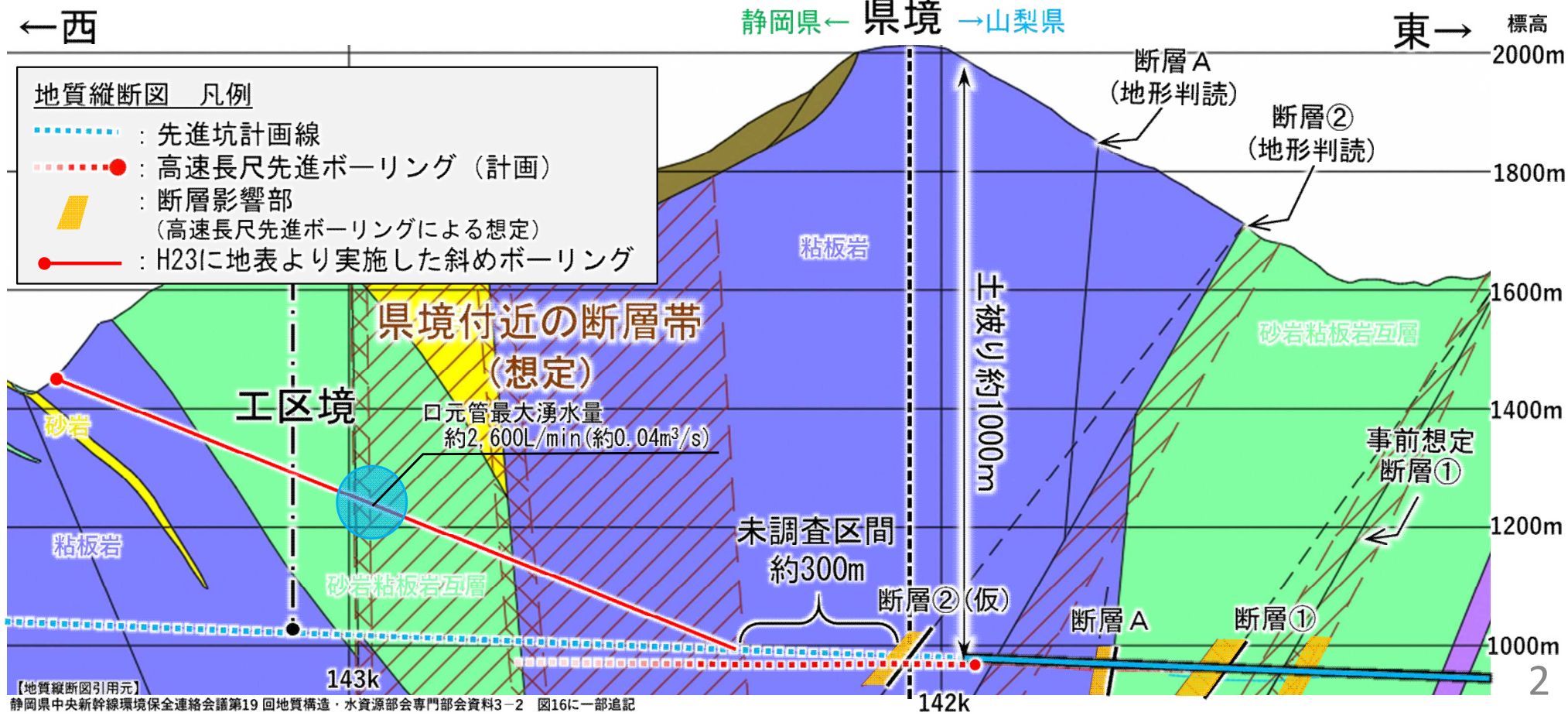


静岡県内に向けた高速長尺先進ボーリングの計画

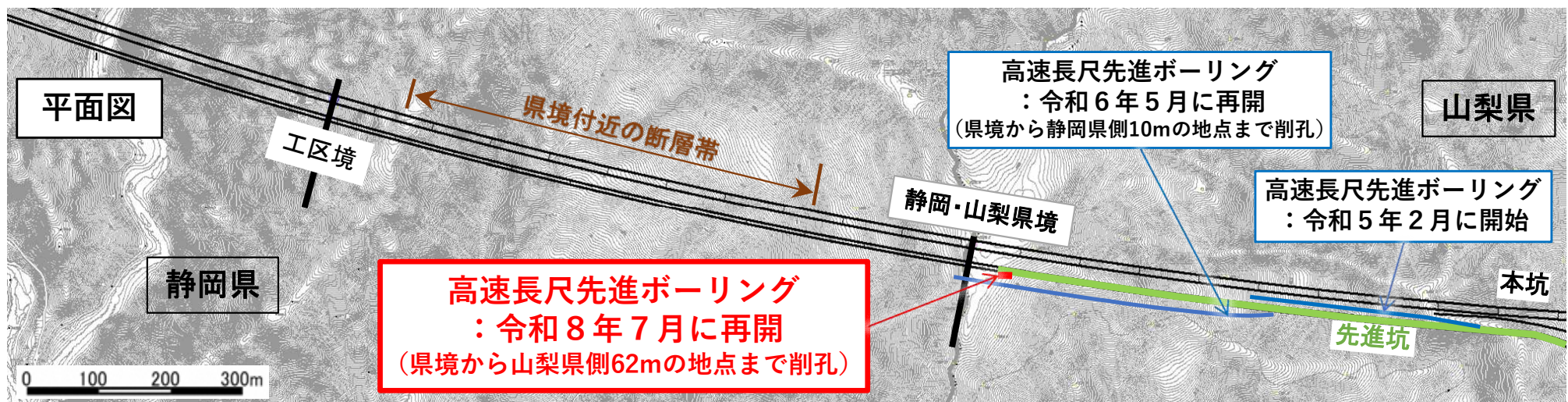
資料3



高速長尺先進ボーリングの計画



- 7月15日に、南アルプストンネル山梨工区において、山梨県内の県境から75mの地点より静岡県側に向けて高速長尺先進ボーリングを再開しました。
- 7月28日時点では、県境より山梨県側に62m地点まで削孔を進めており、湧水は発生していません。
- これまでの地質構造・水資源部会専門部会における対話を踏まえ、設定した湧水量の管理値や管理フロー等に基づいて、慎重にボーリング調査を実施しています。
- ボーリングの状況については、日毎に静岡県等に報告するとともに、週毎に弊社HPに掲載しております。



高速長尺先進ボーリングの状況